



あなたが  
病院薬剤師に  
進むべき理由



JCHO北海道四国地区(四国地域)  
**RECRUIT**

# INTERVIEW

## 先輩インタビュー



JCHO宇和島病院 愛媛県

西本 直矢 *Naoya Nishimoto*

松山大学卒 2013年入職

### Q1・仕事のやりがい

多職種のスタッフと連携した医療チームの一員として働くとき、薬剤師としてやりがいを感じます。もっと勉強して医薬品の専門的知識を高めることで『より安全で高度な医療の提供』に貢献できればなにより嬉しいと思います。

### Q2・職場の雰囲気

真面目で優しい方が多いです。医師や看護師と患者さんことで相談しやすい職場です。最先端の治療法や臨床研究も経験できます。

### Q3・とある1日の流れ

- 9時 ▶お薬の調剤と入院患者の持参薬を鑑別
- 11時 ▶抗がん剤(注射薬)を無菌調整
- 12時 ▶昼ごはんは職員食堂で放射線科の技師さんと一緒に談笑しながら
- 13時 ▶栄養サポートチーム(NST)医師、栄養士、看護師と一緒に医療チーム活動  
(患者の栄養状態を管理することで全身状態の改善、合併症の予防を目指します。)
- 16時 ▶服薬指導(病棟に出向いてベッドの横でお薬の使い方や説明をします。)
- 17時 ▶仕事終了(仕事の後は、スポーツジムで運動!)
- 19時 ▶帰宅

## 谷 翔子 Syoko Tani

近畿大学卒 2015年入職

### Q1 病院薬剤師の仕事

内服薬や注射剤の調剤をはじめ、服薬指導、抗がん剤の調製など幅広く行っています。患者さんがより安心して医療を受けられるように、そして一日も早く回復できるように責任をもって仕事をしています。

### Q2 仕事のやりがい

病院は、患者さんはもちろん、医師、看護師、栄養士、放射線技師、検査技師などさまざまな職種の方がいるので、チームの一員として薬剤師の職能を存分に発揮できます。また、薬局と違ってカルテを閲覧できるので、実際の治療方針も学ぶことができます。



### Q3 職場の雰囲気

JCHOりつりん病院には、頼りになる先輩がたくさんいるので、とても安心して仕事ができます。やるときはやる、休む時は休む、と仕事のメリハリがきちんとされています。



## 武島 愛 Ai Takeshima

徳島文理大学卒 2009年入職

### Q1 仕事のやりがい

薬を中心として、他職種と連携することにより、多方面から患者さんの訴えにアプローチしていくことができます。チーム医療への参加は知識も深まり、頼りにされることもあり、やりがいを感じられます。



### Q2 職場の雰囲気

JCHO高知西病院は、明るく、気さくな感じで他職種との距離が近くて話しやすい職場です。毎日、薬局に医師や看護師、事務職員などいろいろな職種の職員が来られます。その時に患者さんの状況や疑義照会等についてコミュニケーションをとりやすいです。

### Q3 JCHO病院の魅力

全国に病院があるので他地域の病院スタッフと情報交換ができます。年に1回開催されるJCHO学会では全国JCHO病院の発表が聴けます。当院からも院内学会で発表された演題から数題が選出され、JCHO学会で全国へ発表されています。



# JCHO の 特 徴

独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)は、5事業(救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療)、5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)、リハビリテーション、その他地域において必要とされる医療及び介護を提供する機能の確保を図ることを目的とした病院グループです。施設数は、病院57、介護老人保健施設26、看護専門学校7です。

## 01 安定経営 設立以来連続黒字!

JCHOは、国から運営費交付金が交付されない法人であるにも関わらず、平成26年の設立以来、現在まで連続で経常収支率100%を超える収支率をあげることができ、黒字化を達成しています。

## 02 高収入 君の将来の年収は…!

賞与は年間**3.5~4.4ヶ月分**

当該年度の経常収支が  
良好な病院であれば  
別途「年度末賞与」も支給!



## 03 育成プロジェクト

薬剤師個人のニーズにあったカリキュラム!

全57病院のネットワークで薬剤師個人のニーズにあったカリキュラム(JCHO独自のプログラム)が組まれ、地域医療を実践する能力を持った薬剤師を育成します。学会や研修が充実しているのも魅力です。  
また、より高度な「専門薬剤師」の資格取得も支援しています。

何年目でどんな仕事をするの?

### 目安となる経験年数

- 大規模病院
- 中小規模病院

#### 一般職員

- 免許取得後入職
- 1~10年前後
- 1~5年前後

基本業務習得

#### 主任

- 10~25年前後
- 6~10年前後

#### 副職場長

- 25年目以降
- 11~25年前後

チーム医療

学会発表

専門薬剤師

#### 職場長

- 25年目以降
- 25年目以降

部門統括

病院経営

成果主義  
実力主義

に基づく評価制度



## 04 働きやすい職場づくり

### ワークライフバランス支援の充実!

職場が仕事と生活を“当たり前”に両立できる環境づくりを行っています。

有給休暇  
取得率の向上

「育児時短勤務」  
「育児休業」「子の看護休暇」  
「親などの介護休暇」など

院内保育所の  
整備

例えば…

キャリアアップのための  
転勤の全国規模での支援

ライフイベント  
(結婚・配偶者の転勤など)  
による転勤支援

## 05 地域医療連携の取り組み

### 地域住民が安心して暮らせる地域づくりに貢献!

超高齢社会における多様なニーズに応え、地域において必要とされる  
医療・介護の確保を図っています。

地域の病院、診療所との患者の紹介、逆紹介を推進  
地域医療連携室・患者相談窓口の強化  
地域の病院と高額医療機器の共同利用を推進 など

## 06 ITの導入

### 業務の一層の効率化を推進!

JCHOでは、情報通信ネットワーク「JCHOnet」を整備し、本部・57病院間において安全な情報通信を可能にしています。今後も、電子カルテシステムの他、レントゲン等の画像などについてもデータセンターを活用した医療データの保全を推進していきます。

先輩に  
聞いた!

## JCHO病院薬剤師の魅力ランキング

- |           |  |
|-----------|--|
| <b>1位</b> | { 医師、看護師、栄養士、放射線技師、検査技師などさまざまな職種のスタッフと連携した医療チームの一員として、薬剤師の職能を存分に発揮できる! } |
| <b>2位</b> | { 多職種のスタッフと相談できるので、患者の訴えに多方面からアプローチできる! }                                |
| <b>3位</b> | { 有給の取得しやすさが働きやすい! }   |
| <b>4位</b> | { 薬局と違ってカルテを閲覧できるので、実際の治療方針も学ぶことができる! }                                  |
| <b>5位</b> | { 最先端の治療法や臨床研究を経験できる! }  |
| <b>6位</b> | { 認定薬剤師の資格を取得することができる! }   |
| <b>7位</b> | { JCHO学会等の研修が充実している! }   |
| <b>8位</b> | { いろんな部署の人との飲みニケーションが楽しい! }  |



# 薬剤科長座談会

チーム医療を目指しています！



JCHO宇和島病院  
薬剤科長 松尾 典良

JCHO高知西病院  
薬剤科長 川島 克啓

JCHOりつりん病院  
薬剤科長 阿部 武由

## 病院薬剤師の魅力とは？

**松尾（宇和島）** 私は、調剤薬局の薬剤師と病院薬剤師を、それぞれ約15年ずつ経験しましたが、病院薬剤師は、常に医師をはじめとした多種な病院スタッフと近い距離にあるということが1番の特徴ですね。チーム医療が確立していく中で、薬剤師にしかできない様々な場が求められていることを感じます。

**川島（高知）** すべての患者さんの元になるデータに触れるができるのは、これから薬物療法にとって非常に大切なことです。それができることが病院薬剤師であり、役割のひとつではないかと思います。また、私たちが務める中小病院の利点は、医療チームをわざわざ作らなくても自然とチーム医療になることです。より患者さんに近いところで、患者さんの内容を把握しながら、治療ができる環境が魅力です。

**阿部（りつりん）** 患者が薬を併用して飲むとき「一緒に飲んでも大丈夫かな」と思ったり、「喘息を持っている」「妊娠している」方なら「この薬ほんとに飲んで大丈夫かな」と思ったりしますよね。そういう時に患者さんへ適切に薬の安全性を提供するところが薬剤師の役目です。病院であればカルテを見ながら患者の状態をチェックすることができるので、より的確な服薬指導を行うことができます。安全性を確保するうえで、問題があれば薬の処方変更までできる、（薬剤師としての役目を）最後まで完遂することができます。人の役に立てることは、薬剤師のやりがいに繋がります。

## 今後取り組んでいきたいことは？

**松尾（宇和島）** 2025年に向けて地域包括ケアシステムの確立が必須です。そこで重要なのが地域連携。特に調剤薬局とのつながりです。介護の必要な患者さんが「JCHO病院にいたら、調剤薬局の薬剤師さんが薬を持ってうちまで来てくれるよ」というのを当たり前にしたい。そのためにも調剤薬局と連携して在宅業務を推進していきたいと考えています。

**川島（高知）** JCHOは57病院を有しています。それを利用し指導薬剤師がいる病院へ半年もしくは1年交代で出向して勉強し、認定薬剤師などの資格を取得していく、そういうシステムを確立したいですね。認定薬剤師の資格を取るために退職をするなどナンセンスです。JCHOのスケールメリットを生かして人がもっと成長できる環境を作りたいです。

**阿部（りつりん）** 新たなことにチャレンジする人材を集めていきたいと思っています。薬剤師が世間のニーズを嗅ぎ取る感覚を研ぎ澄まして、「できない」ことを「なんとかしてできるように」しようとするバイタリティ溢れる薬剤師を育てていきたいです。今できることでも未来の当たり前にすることはできます。そんな業界を引っ張るような人材・若者を応援したいですね。

## JCHOに属する全国57病院、全ての職員が参加できるJCHO地域医療総合医学会

私たちの取り組みがJCHO理念や各地域医療のニーズに真に貢献できているか、さらなる発展のためにどのようにすれば良いかを、全国の他職種が集まる場で活発に議論し意見交換を行っています。本学会は入職1年目の職員でも参加が可能なところも魅力のひとつ。日々の成果の発表は個人のスキルアップ、キャリアアップだけでなく、他職種によるフォロー及び成果を共有することによりJCHO全体の医療ポテンシャルの向上につながり、その結果が患者さんへのより良い医療の提供を可能とします。外部からの講師による特別講演も行われ、第3回では将棋棋士の羽生善治氏を招聘し、大きな盛り上がりを見せました。今後も年に1回2日間にわたって開催される予定です。



## りつりん病院

<https://ritsurin.jcho.go.jp>



〒760-0073 香川県高松市栗林町3丁目5番9

TEL. 087-862-3171

病床数

199床

診療科

内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科、リハビリテーション科、麻酔科

各部門の職員数

薬剤師6人、診療放射線技師10人、臨床検査技師15人、理学療法士9人、作業療法士6人、言語聴覚士2人、栄養士4人

アクセス

琴電琴平線「栗林公園」駅、すぐ西側  
JR高徳線「栗林」駅下車、南方向に徒歩10分

病院の特色

診療部門は16診療科、271床数を有する総合病院として地域医療機関と相互協力を図り、『患者さんに優しい総合病院を目指します』を理念に掲げ、急性期医療に徹し、地域医療に取り組んでいます。また、併設している健康管理センターは協会けんぽの生活習慣病予防検診をはじめ、特定健診、特定保健指導、日帰り人間ドック、脳ドックなどを行って地域住民の健康管理に貢献しています。

## 宇和島病院

<https://uwajima.jcho.go.jp>



〒798-0053 愛媛県宇和島市賀古町2丁目1番37号

TEL. 0895-22-5616

病床数

199床

診療科

内科、循環器内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、神経内科、糖尿病内科、心療内科、放射線科、麻酔科

各部門の職員数

薬剤師5人、診療放射線技師7人、臨床検査技師11人、理学療法士29人、作業療法士9人、言語聴覚士2人、栄養士4人

アクセス

JR宇和島駅から徒歩15分、車で10分

病院の特色

一般病棟に加えて回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟があり、付属施設として健康管理センター、介護老人保健施設、訪問リハビリテーション、訪問看護ステーションがあります。このため疾病の予防と健康の維持、治療とリハビリテーション、高齢者・障害者への介護と福祉を一貫して提供できる医療機関です。

## 高知西病院

<https://kochi.jcho.go.jp>



〒780-8040 高知県高知市神田317-12

TEL. 088-843-1501

病床数

165床

診療科

内科、外科、整形外科、正垣外科、泌尿器科、リハビリテーション科、人工透析血管外科、麻酔科

各部門の職員数

薬剤師4人、診療放射線技師4人、臨床検査技師5人、理学療法士21人、作業療法士13人、言語聴覚士6人、栄養士3人

アクセス

高知駅より船岡団地行き「とさでん交通バス」にて20分、病院前下車徒歩1分  
JR朝倉駅よりタクシーで約10分  
高知龍馬空港よりタクシーで約40分  
はりまや橋よりタクシーで約15分

病院の特色

医学的リハビリテーションを中心にして、従来からの消化器外科、整形外科の股、膝関節手術、回復期リハビリテーションに力を注いでいます。その他、高知県では最も早くから人工透析室を有し、昼間透析、夜間透析を行い、透析病床38床が常時フル稼働しています。健康管理センターを併設し、成人病検診(メタボリック検診)など保健予防活動にも力を注ぎ、地域住民のニーズに応えた医療を提供しています。中規模な病院ですが、地域医療に貢献しております。

# 就職に迷っているあなたへ

春になれば社会人。

あなたが今、どの道に進むべきか迷っているのなら、

ぜひ「JCHOの病院薬剤師」という仕事を知ってください。

病院薬剤師?なんだか大変そう…、難しそう…。給料が安そう…。

そんなイメージだけで「知ることをやめいませんか?

JCHOの病院薬剤師には、使命があります。

チーム医療の中で薬の効果と安全を確保する責任を担い、

患者さんを幸せにすること。

改革を続け、地域の健康を維持すること。

薬物療法を進化させ、未来のアタリマエを創ること。

これらは全て、私たちが創造するものです。

JCHOには、バイタリティ溢れるこれからの薬剤師を

育てるための環境が充分にあります。

きっとあなたにたくさんの新しい知識を伝授し、

驚くほどの成長へと導くことができるでしょう。

あなたが生きる大切な地域の医療の未来を一緒に支えませんか?

ダイナミックスケールな職場で活躍しませんか?

就職は、友達の影響や親の意見、

なんとなくで決めるものではありません。

あなたの意志が決めるもの。

ぜひ、仕事のやりがいを求めて決めてください。

来年、あなたがJCHO病院の職員 約20,000人の中にいることを信じて。

待っています。



独立行政法人  
地域医療機能推進機構  
Japan Community Health care Organization  
(JCHO:ジェイコー)

応募のお知らせとお問い合わせ  
URL <https://www.jcho.go.jp/chikuhokkaido/>

jcho 北海道四国

問い合わせ先メールアドレス chikukanribu@jcho.go.jp



Facebook